

カナダ国立公文書館

- National Archives of Canada

1872年創設、1987年国立公文書館法

- 2つの役割:

1. National Heritage Institution

2. Central Agency of the Government of Canada

記録されたカナダのメモリーを保存し国民に公開することで、国民の権利を守り、カナダへの理解を深める (アニュアルレポート2001-2002より)

- 国家や国民にとって重要な記録であれば、私文書や絵画、レコード等も収集

1. カナダ国立公文書館本館

訪問日:平成15年10月2日(木)



■建物正面。図書館と公文書館のバナーが左右に掲げられている



■(上) 閲覧室

2階 図書館 3階 公文書館

■(右) 入口の展示スペース



National Library and Archives of Canada の誕生

- 2003年中に新法案成立見込み
- 2つの組織の単なる統合(merger)ではない
- コスト削減や人員整理を目的としない
- 両館長のイニシアチブによる戦略的再編 (transformation)
- 議会の所信表明演説で発表、高い評価
- 特別予算750万カナダドル



■再編のために赴任したDelagrave再編担当次官補のブリーフィング

Why a single institution?

- **電子革命 (Digital revolution)**
デジタルコンテンツとしての書物とアーカイブズ・・・
どちらも記録遺産 (Documentary Heritage of Canada)
- **図書館と公文書館が補完的な関係**
- **司書とアーキビストの能力を集約**
同じKnowledge Businessにかかわる専門家
- **1つになることで利用者の利便性をアップ**
カナダのNo.1レファレンスサイトに



■Carrier国立図書館長主催昼食会

新しい情報運営管理政策

- 2003年5月カナダ政府、Information Management Policy発表
 - 公共事業サービス省、内閣予算局、国立図書館、国立公文書館が一体となった情報戦略
 - 政府機関が作成する記録は電子文書が望ましい
- RDIMS(記録文書情報運営管理システム)
 - 記録形態を電子文書に変更し、電子政府を推進するための共通情報システム
 - 紙資料保存管理の必要性をなくし、コストやスペースを削減
 - 運営委員会のメンバーになることで各機関がRDIMSの開発に関与

2. ガティノー保存センター

訪問日:平成15年10月2日(木)

- 1997年竣工、建築費用8900万カナダドル
(1カナダドル=84円)
- 最先端技術を集めた資料保存専門施設
- 所蔵資料の多様化
様々な媒体の資料保存を研究・実践



■ 概観と内部

施設概要

- 外周はガラスで覆われ、屋根はステンレス
- 内部はコンクリートで建設された収蔵庫を持つ二重構造
- 害虫予防・防埃のため、建材はコンクリート、鉄、ステンレス、ガラスが主体
- 設備関係(電力、水道、空調等)は隣接の動力棟
- 建物面積32,000平方メートル
 - 3階建ての収蔵庫、4階設備関係、5階に研究室
 - 作業室はビレッジ(村)をイメージして配置
 - 収蔵庫は48、各階に16部屋、収蔵資料に合わせた環境コントロール



■(上) 村をイメージしたデザイン

■(右) 休憩スペース



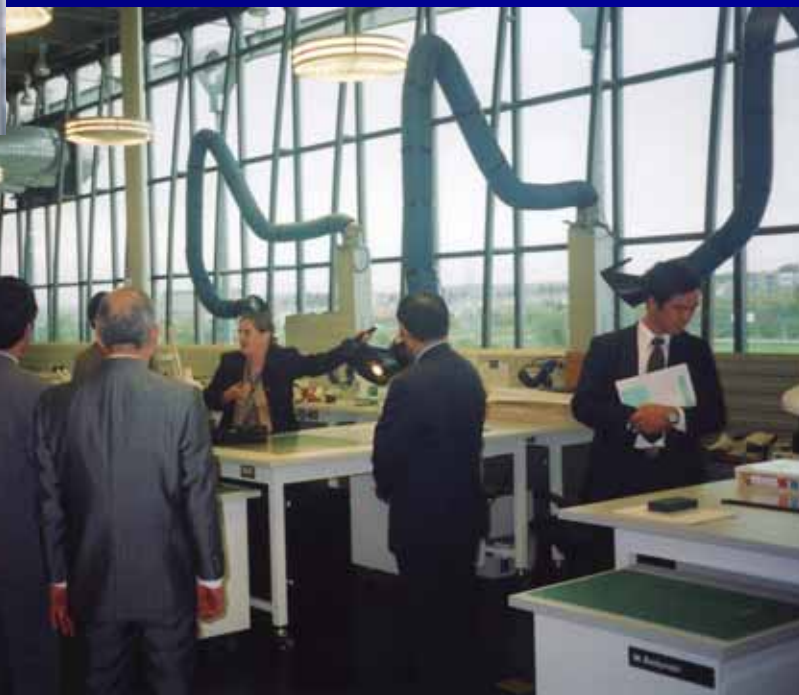
■画像・音声保存修復施設

1960年代からのビデオ画像を修復保存

再生機材・関連技術の保存も行う



■音声再生機を保存



■ 紙資料・書籍等修復施設



- (上)フィルム・マイクロ収蔵庫
- (右)バーコードによる管理





- (左)紙資料収蔵庫
- (上)カラーフィルム収蔵庫



■美術資料収蔵庫。カナダの歴史に関する絵画・人物画等を収集